

Event Schedule

イベントスケジュール

毎月開催のイベント（6・7月分）についてご案内します。事前のお申し込みの必要はありません。

※ 小児料金
◎は除く

⑨ ディスカバリートーク

6月

日 程	テ ー マ	研究部	講 師
1日(日)	水の下の世界 (地球館1F)	植物	辻 彰洋
	黄金を運ぶマダガスカル (地球館2F)	地学	佐野貴司
7日(土)	カメムシあれこれ (地球館1F)	動物	友岡雅章
	復讐法について (地球館2F)	人類	坂上和弘
8日(日)	日本の海にすむ豊かな動物たち (日本館3F)	動物	窪寺恒己
	ナノテクノロジーとは (地球館3F)	理工学	田辺義一
14日(土)	高山植物のいろいろ (地球館1F)	植物	秋山 忍
	ピカリアの海 (日本館3F)	地学	加藤友喜
15日(日)	日本にすむ魚たち (日本館3F)	動物	橋本親人
	龍石と太陽系 (地球館3F)	理工学	米田成一
21日(土)	熱帯・亜熱帯起源の動物 (日本館2F)	動物	倉持利明
	メタセコイアのきた道 (日本館1F)	地学	植村和彦
22日(日)	海岸のシダ、オニヤブツツから見た日本列島 (地球館1F)	植物	松本 定
	金について (地球館2F)	地学	宮庭律郎
28日(土)	鳥の形と顔のとおり方 (地球館3F)	動物	西海 功
	ヒトはどこまで動物か (地球館2F)	人類	馬場悠男
29日(日)	貝類ーどんな貝がいて、どんな生活をしているのか (地球館1F)	動物	齋藤 寛
	日本の天球儀 (日本館1F)	理工学	西城恵一

7月

日 程	テ ー マ	研究部	講 師
5日(土)	裸子植物と被子植物の境目 (地球館1F)	植物	加藤雅啓
	微化石 (地球館2F)	地学	谷村好洋
6日(日)	箱に入った魚たち (地球館1F)	動物	松浦啓一
	最近の天文学の話題 (地球館3F)	理工学	洞口俊博
12日(土)	日本列島の植物系 (地球館1F)	植物	門田裕一
	日本の海生哺乳類化石3ーヒグザグザの地層 (日本館1F)	地学	甲能直樹
13日(日)	ハチの多様性 (地球館1F)	動物	橋本親人
	ロボットについて (地球館2F)	理工学	鈴木一義
19日(土)	クモのはなし (地球館1F)	動物	小野展嗣
	日本人の顔容形態の時代的変化とその要因 (日本館2F)	人類	溝口俊司
20日(日)	科博の維管束植物タイプコレクション (地球館1F)	植物	海老原淳
	最新恐竜学 (日本館1F)	地学	真 鏡 真
21日(月)	海にすむ星とキュウリとハリネズミ (地球館1F)	動物	藤田敏彦
	音と楽器の科学 (地球館2F)	理工学	前島正裕
26日(土)	日本のコケをもっと知ろう (日本館3F)	植物	樋口正信
	大きな陸葉が棲んでいた大むかし (地球館2F)	地学	斎藤めぐみ
27日(日)	哺乳類の多様性 (地球館1F)	動物	川田伸一郎
	科学のマジシャン「魅惑」 (地球館3F)	理工学	若林文高

土・日・祝日に科博の研究者が交代で、展示や研究内容などについての解説や質疑応答などを行います。

定 員 各回15名（先着順）

時 間 ①午前11時～、午後1時～ ②正午～、午後2時～（約30分程度）

受 付 各集合場所にて受付。予約、事前申込み不要。

集 合 日本館の各階ディスカバリートーク受付、または地球館の各階ディスカバリーポケット

※予定している内容は変更する場合があります。最新の内容は、科博のホームページのイベント情報をご覧ください。研究推進課（連絡先は中国に記載）までお問い合わせください。

🏠 夜の天体観望公開

上野本館（毎月第1、第3金曜に実施）

○日程：6/6、6/20、7/4、7/18 ○時間：19時30分から約2時間（晴天時）○講師：理工学研究所 西城恵一、洞口俊博

○申込：不要 ○参加費：夜間入館料（一般300円、高校生以下は無料）○問合せ先：03-3822-0111 ○観察できる主な天体：土星（6/6、6/20のみ）、二重星、星団、星雲 ○備考：夜間入館口から入館

下町の、心にしみるおいしさがあります。

洋食黒船亭

TEL: 3837-1617
営業時間：11:30～22:45
(ラストオーダー：22:00 上野 ABAB 前 年中無休) ペットスペース ¥1470

あんみつ
みばし

季節の甘味をお楽しみください。
ご来店をお待ちしております。

本店：台東区上野4-9-7
TEL: 03-3831-0384
http://www.mihashi.jp

附属自然教育園でのイベント

日曜観察会
毎月第1、第3日曜日にテーマを決めて園内の自然について解説します。時間は11時からの1時間。入園者対象で申込は不要です。

6月 1日 爛花動物（講師：久居宣夫）
6月 15日 繁殖期の鳥類（講師：濱尾章二）
7月 6日 爛花植物（講師：萩原信介）
7月 20日 鳥の羽の観察（講師：濱尾章二）

都市小動物の生態講座
国内外の昆虫や小動物の生態について講義室で解説します。時間は13時30分から1時間。入園者対象で申込は不要です。

6月 1日 都市で発生する昆虫（講師：久居宣夫）
7月 13日 水質汚濁と水生動物（講師：久居宣夫）

その他のイベント
世界自然・野生生物映像祭優秀作品上映会 in 科博
毎月第2金曜16時30分から上野本館で、「世界自然・野生生物映像祭」に出品された作品を3本程度上映しています。

初心者のための植物学講座

国内外の植物の生態について講義室で解説します。時間は13時30分から1時間。入園者対象で申込は不要です。

6月 8日 生死を分ける光の奪い合い（講師：萩原信介）
7月 6日 緑の侵入者たちの盛衰（講師：萩原信介）

やさしい鳥学講座
研究者自身のものを含め、最新の鳥の生態学研究をわかりやすく講義室で解説します。時間は13時30分から1時間、入園者対象で申込は不要です。

6月 15日 都会の餌は栄養不足？
シジュウカラの食料事情（講師：濱尾章二）
7月 20日 なぜ托卵にだまされるのか
ーマフィア仮説の真偽ー（講師：濱尾章二）

Friends of the Museum

友の会入会のご案内

常設展の無料入館や雑誌 milsil の送付など6つの特典がついた国立科学博物館友の会にぜひご入会ください。会費は個人会員・一般では1年間4,000円。詳しくは日本館地下友の会カウンター（代表 03-3822-0111）にお問い合わせください。

Exhibition Schedule

展示のご案内

ダーウィン展 ～6月22日(月)～
詳細は1ページをご覧ください。

Dr. NOGUCHIー世界を勇気づけた科学者・野口英世ー ～7月21日(月)～
詳細は1ページをご覧ください。

※kahaku event 02において本企画展の日程に誤りがありました。謹んでお詫言申し上げます。

クレマチス展 会場：筑波実験植物園 ～6月 8日(日)～

自然教育園写真展 会場：上野本館 6月 3日(火)～6月29日(日)

クンショウモ、デザイン展ー微小藻が誘う美の世界ー
上野本館 ～6月 1日(日)～
筑波実験植物園 6月14日(土)～6月29日(日)

植物園フェスタ 7月19日(土)～8月 3日(日)
会場：筑波実験植物園 対象：時間内どなたでも参加できます。
開場時間：10時～12時、13時～16時

企 画：海藻の押し葉標本はがきを作ろう (7/19～24)
葉脈の標本しおりを作ろう (7/25～30)
植物の押し葉しおりを作ろう (7/31～8/3)

みえる、わかる、なる 放射線医療展 7月25日(金)～8月 2日(土)
会場：産業技術史資料情報センター 入館料：無料
開館時間：10時～17時30分 (8月2日は17時まで)

2008夏休みサイエンススクエア 7月29日(火)～8月24日(日)
会場：上野本館企画展示室 他 対象：小・中学生
開場時間：10時～16時 (整理券配布は9時10分～)

日本の大発明 うま味調味料 8月21日(木)～8月30日(土)
会場：産業技術史資料情報センター 入館料：無料
開館時間：平日10時～18時 / 土日10時～17時

日本発の味「うま味」 発見100年を記念し、世界の食品産業の発展に今なお貢献し続けるうま味調味料の歴史、産業応用を展示します。

鳴く虫の文化誌 会場：附属自然教育園 8月30日(土)～9月28日(日)

利用案内

【上野本館】
所在地：台東区上野公園7-20
常設展示：一般・大学生500円 (300円)
()内は団体、団体は20名以上
高校生以下は無料
開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)
金曜日は9:00～20:00 (入館は19:30まで)

【自然教育園】
所在地：港区白金台5-21-5
入 園 料：一般・大学生300円
高校生以下は無料
開館時間：9月1日～4月30日
9:00～16:30 (入園は16:00まで)
5月1日～8月31日
9:00～17:00 (入園は16:00まで)

【筑波実験植物園】
所在地：つくば市天久保4-1-1
入 園 料：一般・大学生300円 (200円)
()内は団体、団体は20名以上
高校生以下は無料
開館時間：9:00～16:30 (入園は16:00まで)

【産業技術史資料情報センター】
所在地：中央区日本橋豊町2-1-1
三井本館5階

自然と科学の情報誌

milsil [ミルシル]

当館ミュージアムショップで発売中！

国立科学博物館

National Museum of Nature and Science

創業明治5年

眼下に広がる水と緑。上野の森の高台で過ごす至福の時間

上野精養軒

〒110-8715 東京都台東区上野公園4-58 TEL 03-3821-2181 代 FAX 03-3822-1330 http://www.seiyoken.co.jp

制作編集：独立行政法人国立科学博物館広報・サービス部広報課
2008年5月発行

kahaku event

国立科学博物館イベント情報

May 2008 no.3

個人的には財布から出る「一方の紙幣ですが、今回はそこに描かれる肖像から話を始めましょう。」

日本を含め多くの場合、紙幣にはその国を代表する人物が描かれています。その理由は偽造防止やデザイン的な必要性は、紙幣に親しみを持たせるためなど様々な理由があります。

もちろん科学者が肖像になっている例もたくさんあり、日本の野口英世（1876年）、アメリカのベンジャミン・フランクリン（1806年）、フランスのキュリー夫妻（1867年）、イギリスのチャールズ・ダーウィン（1809年）などがよく知られています。

ところで、今年2008年は日英外交関係樹立150周年にあたります。そこで皆さんも、紙幣に肖像が描かれている科学者のうち日本と英国について、さらに「コト」をみるのはいかがでしょうか。ちょうど今、国立科学博物館の企画展「Dr. NOGUCHI 特別展「ダーウィン展」のそれぞれで野口英世とチャールズ・ダーウィンについての展示を「覧いただけます。

また「ダーウィン展」では、その生い立ちから人生を変えた出会い、「種の起源」発表までの苦悩や彼を支えた人々など、進化理論誕生の軌跡を辿ります。子どもからおとなまで、好奇心を刺激する「進化」発見の旅へとご案内します。

「日本科学技術者展シリーズ第6回 Dr. NOGUCHI 世界を勇気づけた科学者・野口英世」では、挫折と成功を繰り返す野口の波乱の生涯、病原因のあくなき挑戦、そして努力の末に得た研究成果を、彼を支えた多くの人々との交流を交えて今日の視点から紹介します。

また「ダーウィン展」では、その生い立ちから人生を変えた出会い、「種の起源」発表までの苦悩や彼を支えた人々など、進化理論誕生の軌跡を辿ります。子どもからおとなまで、好奇心を刺激する「進化」発見の旅へとご案内します。

ダーウィン展
会 期 ○ ～6月22日(日)
開館時間○9時～17時 ※毎週金曜日は夜間開館20時まで。
(入館は各開館時間の30分前まで。)

休 館 日○毎週月曜日
入 館 料○一般・大学生／1,400円(1,200円)
小・中・高生／600円(500円)
※()内は20名以上の団体 ※常設展もご覧いただけます。
※未就学児は無料
友の会会員は1回に限り無料で入場できます。チケットの配布は友の会カウンターで行います。

ホームページ
○国立科学博物館 www.kahaku.go.jp
公式ホームページhttp://darwin2008.jp

問い合わせ
○03-5777-8600 (ハローダイヤル)

主 催 ○国立科学博物館、読売新聞社、NHK
企 画 ○アメリカ自然史博物館

※1 日本銀行千円券（原寸大）

※2 Bank of England 10ポンド紙幣（原寸大）